

# KWC第253回例会 鶴見七福神めぐり

日時：2020年1月11日(土)

集合：京急線鶴見市場駅 9:45 出発10:00

コース：鶴見市場駅→熊野神社(福祿寿)→鶴見神社(寿老人)→総持寺(大黒天)→東福寺(毘沙門天)  
→正泉寺(恵比寿)→安養寺(弁財天)→松陰寺(布袋)→大口駅 15,000歩 約10km

参加者：仲L・吉田敬SL・清水SL 赤字：感想文 青字：一般参加

1班：武倉班長・仲L・佐藤よ・常盤・大平・青松・河野・井内・中村ゆ・桑原・滝川・柴田 12名

2班：菊池班長・吉田敬SL・勅使河原・神谷・高橋文・藤原・山内・丹後・奥村・赤須・吉田正

・関岡満里子 12名

3班：平林勝班長・清水SL・吉越・平石・伊藤真・中村年・福士・橋本・高山・畠・飯田 11名

4班：長廣班長・平嶋・熊坂・小野里・小林・森川・市村・桑名・吉岡・鈴木徳子・服部 12名

合計47名

## 地図

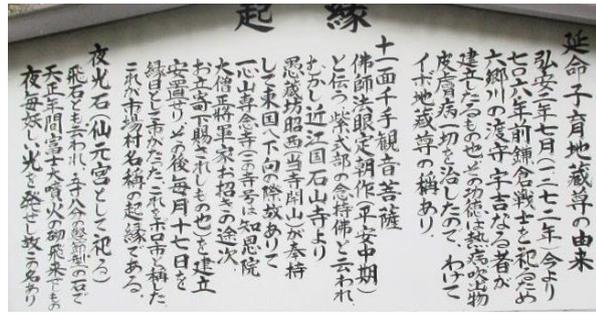


京急鶴見市場駅改札口 仲L他お迎え、鶴見七福神資料手渡し 鶴見市場駅1階すぐ傍に「延命子育て地蔵」



今日は47名の参加で、最近では最高的人数でした。お久しぶりの人にも逢えて、令和2年新年の御挨拶。小生は1月6日(月)絹の道参加し、今日で2回目ですが、殆どの方が今年初めてのKWCウォーキングだと思います。天候も曇り後晴で素晴らしい新春七福神巡り完歩出来ました。皆さん良いお年になるでしょう!

待合場所、鶴見市場駅1階傍に「延命子育て地蔵」今日の天候と、無事完歩を願い、既に関係ないが孫の為に・・・?



戴いた資料

2011年誕生／曹洞宗大本山總持寺鶴見御移転100年

## 鶴見七福神

鶴見歴史の会創立30周年、鶴見区文化協会創立25周年記念

楽しく歩いて、開運！健康増進！

七福神信仰は、室町時代の京都に始まり、江戸時代の初期、徳川家康が、新しい江戸の町に賑わいをもたらすために、お正月の七福神めぐりを奨励しました。江戸時代中期には、七福神めぐりが全国的に大流行し、庶民文化として定着しました。21世紀に入ったからも各地の特性をいかした新たな七福神が誕生し、1月7日を中心に全国各地で「七福神めぐり」が盛んに行われています。「鶴見七福神」は、鶴見区内の神社にまつられている由緒ある神々により、2011年の曹洞宗大本山總持寺の鶴見御移転100年記念として誕生しました。年の初めに「鶴見七福神」をめぐって、鶴見の歴史や文化に親しみながら「開運・健康・しあわせ」を祈りましょう！

**鶴見七福神**

- 福祿寿** 人望・長命・福徳円満  
横浜熊野神社 市東中町9-21 ☎045-501-8685  
弘仁年間(810～824)紀州熊野本宮の祭神を分霊して創建。祭神は国常立尊(ことさかのみこと)。境内には江戸時代の黒門跡。加吉白雄と大黒野太が旧東海道の名勝鶴見橋を跋んだ句碑もある。www.753.jp
- 寿老人** 健康・長寿・財宝  
鶴見神社 鶴見中支1-14-1 ☎045-501-4111  
17世紀初め創建。権左殿古の神社。旧杉山大明神。毎年4月29日に鎌倉時代以前から伝わる民俗芸能(お囃子の舞)を奉行。境内の石段群が地域の文化や歴史を伝える。清明寺(三尊由緒)もまつる。
- 大黒尊天** 福徳・五穀豊穡・財福・有徳知恵  
大本山總持寺 鶴見2-1-1 ☎045-581-6111  
曹洞宗の大本山。本尊は釈迦如来。1921年(大正10年)に火災にあり1911年鶴見に移転再建。大黒尊天は本尊。境内には厚化粧な三松園・向徳門・仏殿・香積台・大食堂、待風廊などがある。文化財。
- 毘沙門天** 悪霊退散・勝運・子宝成就・縁結び  
東福寺(真言宗) 鶴見1-3-5 ☎045-581-5066  
1087年創建。本尊は如意輪観音。聖天聖子の子育て観音聖像として古くから信仰を集めてきた。毘沙門天で昭和初期の七福神聖地。前庭西蔵。御田丸一の句碑や花月園庭園地名残の石燈籠なども有る。
- 恵比寿神** 漁業・商売繁栄・豊漁・海上安全  
正泉寺(真言宗) 生麦4-31-4 ☎045-511-5175  
1624年創建。本尊は海中より出現とされる薬師如来。念仏供養地蔵・龜地蔵とその逸話が人情味ある住吉の浜の暮らしを語り、大鰐を抱く恵比寿神は江戸域に新鮮な魚介を納めていた地元生麦漁師の心意気を伝えている。
- 福壽辨財天** 学問弁吉・依怙・財福・病苦厄除  
安置寺(浄土宗) 岸谷1-22-12 ☎045-581-9227  
1492年(明応の頃)創建。本尊は阿彌陀如来。佐弘法大師作の辨財天は江戸時代から女性や商人の信仰を集めてきた。「関口日記」の関口家菩提寺。トクテチャップ創業者清水武興も眠る。明治時代に生見屋村役場がおかれた。
- 布袋尊** 貧窮・開運・自縁・子宝  
松鏡寺(浄土宗) 東寺尾1-18-1 ☎045-571-1701  
1334年(建長寺・円覺寺を歴した仏教神師の開創。本尊は釈迦如来。中世の「武蔵国鶴見寺尾輪廻記」(重要文化財)を伝える。布袋尊で昭和初期の七福神聖地。堂書の語源とされるタラコワの太木は横浜市指定(名木古木)。

図

公益社団法人鶴見区地域振興協会

2020(令和2)年

御開帳 1月4日(土)～1月12日(日) 9:00～16:30

## 鶴見七福神

楽しく歩いて開運！健康増進

新年に歩いて開運2020年 鶴見七福神1月4日～12日御開帳ツアーや抽選会も

鶴見七福神めぐり

1月4日(土)・7日(日)・12日(日) 各日10時～16時 参加費 600円(税込) 抽選券 500円

お楽しみ抽選会 御朱印押印済みの台紙持参で抽選1回  
抽選日 旧暦1月5日(土)・7日(日)・12日(日) 10時～17時  
抽選会場 アイスビル16 Cafe 鶴見東 上記以外の店舗は抽選できません

千客万来 つるみ

「鶴見七福神御朱印帳」厚紙 ￥100 第10回鶴見七福神めぐり

御開帳1月4日(土)～1月12日(日)  
9:00～16:30  
ガイド付きも有り ￥600



### 横浜熊野神社 (福祿寿)

**熊野神社**は、横浜市鶴見区市場東中町にある神社です。熊野神社は、紀州熊野別当尊慶が弘仁年間(810-824)「権現社地」に勧請、天保年間(1830-1844)に道上耕地へ遷座、明治5年 JR 東海道線の敷設により、八幡社のあった当地へ遷座したといひます。明治6年村社に列格しました。鶴見七福神の福祿寿です。



熊坂さんによるストレッチ



横浜熊野神社 (福祿寿)

社殿



47名大連隊の街歩き長蛇の列

全列



市場の一里塚



鶴見川

鴨が気持ち良く遊んでいました 青空のもと橋渡りは最高！



寺尾稲荷道

旧東海道 説明板



**7 旧東海道**  
Old Tokaido Route

古代から多くの人に利用されていた東海道は、17世紀のはじめ、徳川家康により江戸と京都を結ぶ重要な街道として整備されました。宿場が設けられ、距離の目安として一里(約4km)ごとに道の両側に一里塚を築きました。市場西中町には、この一里塚が片側だけ、今も残っています。海に面して景色が優れていた鶴見や生麦は、川崎宿と神奈川宿の間の「間の宿」としてにぎわい名物、「よねまんじゅう」を商う店や茶屋が繁盛したといえます。

鶴見神社 (寿老人)

本殿



**鶴見神社**は、横浜市鶴見区鶴見中央にある神社です。鶴見神社の創建年代は不詳ですが、かつて杉山社と称し、延長5年(927)に作成された延喜式神名帳に記載されている杉山社に比定される社とも、鎌倉時代(北条氏)の頃の創建とも推定されます。明治6年村社に列格、大正9年社号を杉山明神牛頭天王相殿から鶴見神社へと改称したといひます。鶴見神社境内からは古墳時代の貝塚が発掘されたほか、鶴見川橋付近にあった寺尾稲荷道道標が保存されています。**鶴見七福神の寿老神**です

**本殿**



**本殿の右に七福寺礼拝所**



**寿老人**



奇岩 奥には更に小さな五重の石塔 岩上の松がある。歴史に残る古神社でした。寺尾稲荷道道標



**寺尾稲荷道道標 説明板**

寺尾稲荷道道標は、旧東海道の鶴見橋(現鶴見川橋)付近から寺尾・小杉方面への分岐点にあった三ツ家稲荷に建てられていたもので、「村一社の神社社会記念」によって、大正年間三ツ家稲荷が鶴見神社境内に移された時に、移されたと思われる。昭和三〇年代前半頃に、鶴見神社境内に移された三ツ家稲荷の鳥居前の土留め作業を行なった際、道標が埋没しているのが発見されました。

正面には「再上安全 寺尾稲荷道」  
右側面には「是より廿五丁」  
左側面には「宝永二乙酉二月初午 寛延三庚午四月再建之」  
文政十一庚子四月再建之

とあり、二度建てられ、この道標が三代目であり、当時の寺尾稲荷に対する信仰の篤さのかがい知ることが出来ます。  
寺尾稲荷は、寺尾社の西山麓に祀られ、現在は地名が馬場と変わったことから馬場稲荷と呼ばれていますが、古くは寺尾稲荷と呼ばれていました。江戸時代には馬場上達かえられる稲荷として知られていました。

平成十九年三月  
横浜市教育委員会

**市場の一里塚**

**市場の一里塚**

慶長9年(1604)徳川幕府は、江戸から京都までの街道を整備し、あわせて宿場を設け、交通の円滑を図りました。里程の目標と人馬の休憩のための目安として、江戸日本橋から一里(約4km)毎に街道の両側に五間四方(9m四方)の塚を築造し、塚の上には榎を植えました。ここは江戸より五里目の塚に当たり、市内で最初の一里塚です。明治9年(1877)地租改正にあたり払下げられ、左側の塚が現存しています。昭和初期まで塚の上には榎の大木が繁茂していました。昭和8年(1933)6月「武州橋樹郡市場村一里塚」(添田坦書)の碑が建立されました。

**J R横須賀線鶴見駅陸橋を渡る**



**總持寺(大黒天) 曹洞宗**

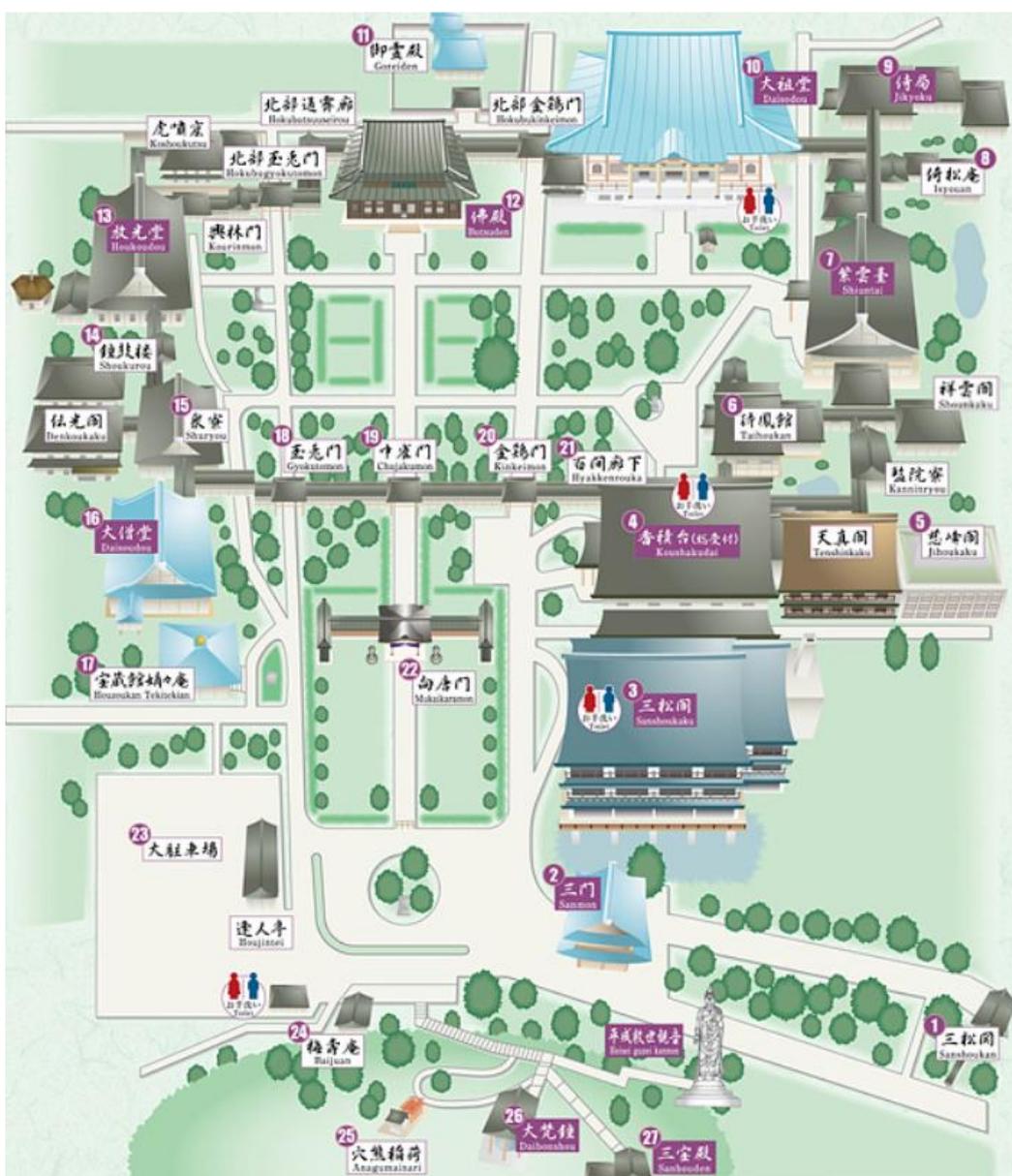


近くには鶴見大学もある  
高台にあり、15万坪の広大な敷地  
**曹洞宗**  
石川県永平寺が西日本の本山に対し、総持寺東日本の本山。

曹洞宗寺院の総持寺は、諸嶽山と号し、曹洞宗の大本山です。元亨元年（1321）瑩山禪師が能登半島の櫛比庄（現在の石川県鳳至郡）にある諸嶽観音堂に入山し、諸嶽山総持寺と改号、元亨2年（1322）後醍醐天皇より紫衣を拝領、曹洞宗の大本山となったといひます。明治31年（1898）火災により焼失、当地にあった成願寺の寺地を譲り受け、明治40年移転したといひます。東海三十三観音霊場初番札所、



**総持寺境内図 曹洞宗** 曹洞宗大本山総持寺は、明治44年に石川県能登よりここ鶴見ヶ丘の地に移転、以来、諸堂を整備し、約15万坪の広大な境内にさまざまな堂宇を建立してまいりました。



瑩山禪師 伝光録

山と言ふも山にあらず  
河と言ふも河にあらず  
唯だ是れ河なり  
唯だ是れ山なり

瑩山禪師「伝光録」首章

今日の伝道標語

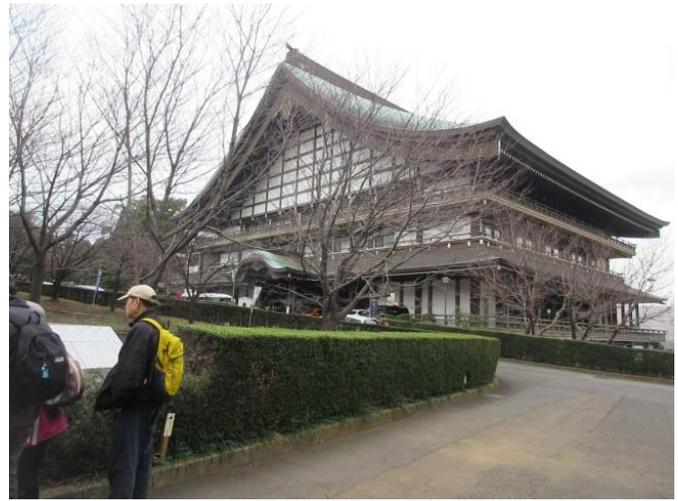
道業未だ成せず  
身命保古難し

何ぞ後日を期せん

瑩山禪師「伝光録」  
大鑑慧能禪師章

この三体像は最近出来たようです。

御朱印は靴を脱いで上がります



休憩室で昼食 11:40~12:10 我がチームで貸切りの様でした。



昼食後吉田敬S Lこの後の予定を説明 鉄道事故桜木町事故（1951）鶴見事故（1963）の碑



桜木町事故は昭和26年（1951年）4月24日午後1時45分ごろ、国鉄（現・JR）京浜東北線の5両編成の電車モハ63形が桜木町駅に進入する直前、最先頭車のパンダグラフが、断線し垂れ下がっていた架線にからまり破損。電気ショートにより車両火災が発生した。火は瞬く間に先頭車を全焼し、2両目に延焼。2両目も半焼し、死者103名、重軽傷者95名の大惨事となった。この事故は当時としては高架上のうえ、さらに車両構造の問題が指摘された。

金鷄門を背景に名前と顔を覚えて戴く為班別集合写真、 第1班 (一部P 1の名簿通りになっていません)



第2班



第3班



第4班



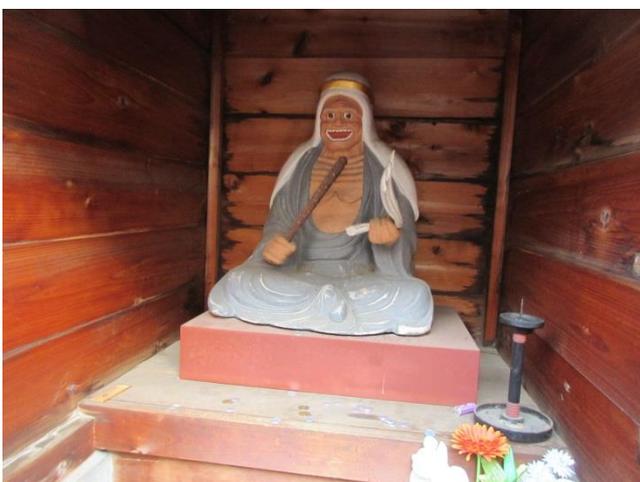
境内は広い



### 東福寺 (毘沙門天) 12:45

東福寺の創建年代は不詳ながら、山城國醍醐三寶院の勝覺僧正（大治4年1129年寂）が寛治年間（1087～94）に創建したと伝えられます。東福寺の観音堂は、松平定信や備前少将治政、出雲少将治郷などからも扁額の書を寄せられ、参詣者も多かったといい、[東海三十三観音霊場](#) 14番、[旧小机領三十三所子歳観音霊場](#) 10番となっています。

真言宗智山派寺院の東福寺は、子生山と号します。山城國醍醐三寶院の勝覺僧正（大治4年1129年寂）が寛治年間（1087～94）に創建したと伝えられます。[東海三十三観音霊場](#) 14番、[玉川八十八ヶ所霊場](#) 10番、[東国八十八ヶ所霊場](#) 14番、[旧小机領三十三所子歳観音霊場](#) 10番、[武相不動尊](#) 20番、[鶴見七福神](#)の毘沙門天です。



東福寺 本殿



タブの木

花月園前駅の歩道橋を渡ります



正泉寺 (恵比寿) 正門

参道があります

鶴見七福神の赤い登り



蛇も蚊も・・・

横浜市指定無形民俗文化財

### 蛇も蚊も

行幸の日 六月第一日曜日  
 保存団体 本宮蛇も蚊も保存会

蛇も蚊もは、約三〇〇年前に悪疫が流行したとき、壺で作った蛇体に悪霊を封じ込めて海に流したことに始まると伝えられています。この行事は、旧暦の端午の節句の行事とされていますが、明治の半ば頃から太陽暦の六月六日になり、近年は六月の第一日曜日に行われるようになりました。

壺で作った長大な蛇体を若者・子どもがつかいで一蛇も蚊も出たけ、日和の雨け、出たけ、出たけと大声で唱えながら町内をかついで回り、もとは、原地区(神明社)が唯一の行事となっています。

平成二十四年二月 横浜市教育委員会



道念稲荷



生麦事件発生現場



京急鶴見駅を陸橋で横断します

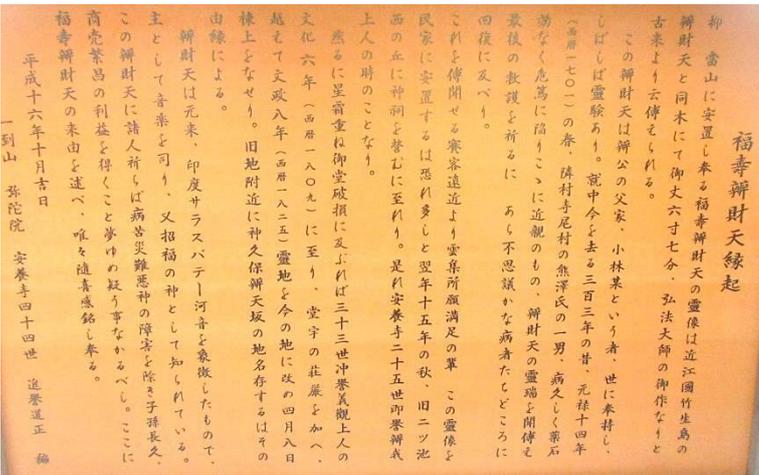


安養寺 (弁財天) へ参拝



安養寺 (弁財天)

本堂



字峰と云所にあり。海道末右の方へ3丁40間余引込て山の下なり。浄土宗にて神奈川宿慶運寺末、一到山弥陀院と号す。開山は慶誉といふ。明応9年7月7日寂す。客殿6間四方、本尊三尊の弥陀長2尺許なるを安置す。中の像は弘法大師の作なりと云。左右の像は詳ならず。当寺は中古江戸芝増上寺より堂宇を再興して、松道と云僧を住職とせり。此時寺は同郡東子安村にありしと云。されど今東子安村にては土人此ことを傳へず。且此所へ移りし年代も詳ならず。

弁財天社。客殿に向ひ左の方にあり。3間に2間東向。神体は立像にて1尺許なるを安置す。弘法大師の作と云傳ふ山王祠。弁天社の並にあり、東向小祠。(新編武蔵風土記稿より)



龍の彫り物



素晴らしい庭園



お地蔵さん



多人数横断歩道、渡るのも大変でした



最終松陰寺へ向かいます。最後に急坂道、本日初めての健脚コース。男性軍 きついよ！女性軍笑顔で楽しそう！  
まだまだ若いのよ！



駒形天満宮



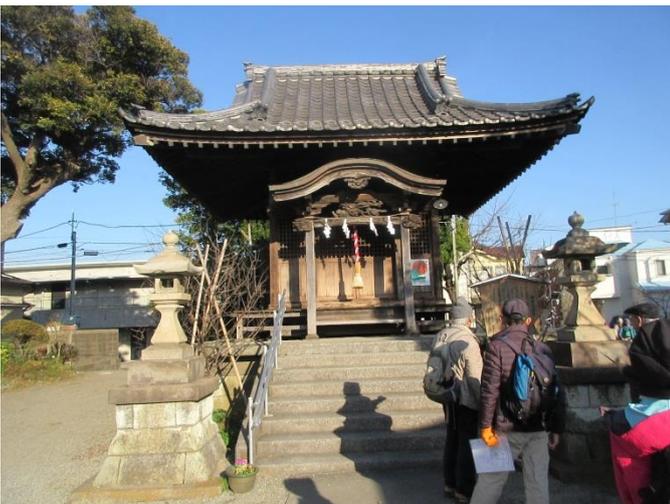
旧東海道跡には社寺が沢山  
有ります。

松陰寺東寺尾村（布袋）

字向谷の内三角山と云所にあり、仙鶴山と號す、禪宗臨濟派鎌倉建長寺末、開闢の来由を尋ぬるに建長寺第三十世佛壽禪師退隱の後、幽棲の地として此に庵を結び正統庵と號せり、今其時代に画し境内の圖あり古刹なること證すべしかの禪師は文和三年に寂せし人也、寺號初は松音寺と書しが後に今の字に改めしなり、本堂南向にて七間半に六間、本尊釈迦の立像にして長二尺七寸なるを安ず、古器寶物等は多く火災の為に失ひしよしを云傳ふ、三十年程前に同じ除地の内東の方より今の所へ堂宇を移す、土人今其所を呼で本屋敷と云。

松陰寺（布袋）

仁王様布袋様



仁王様



最後の集合写真

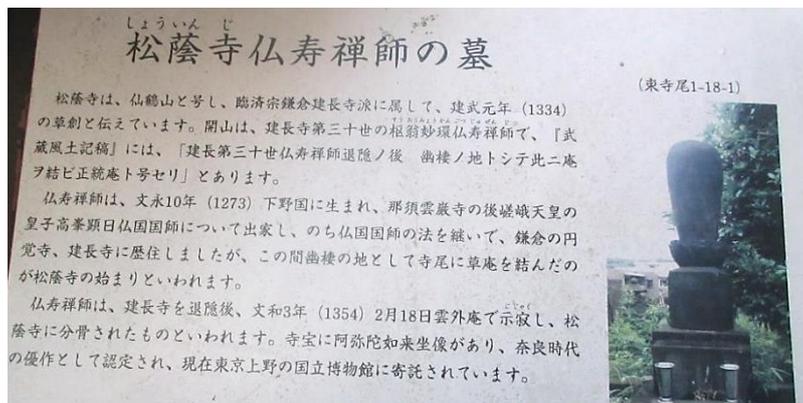


代表で



松陰寺仏寿禅師の墓

境内からの眺め



下りは楽です！

大口駅に向かいます

入江川を渡る



大口駅近くの入江川公園で熊坂さんによるクールダウン

仲L、吉田敬 SL 清水SL

「皆さんお疲れ様でした。15,000歩、約10kmとします。

この後希望者でアフターウォークを予約してある中華料理徐福苑でやります」

好天に恵まれた令和2年新年鶴見七福神例会ウォーク無事終了しました。

多人数47名、4班の街歩き引率ウォーク、4班各班長さん人員点呼、アフター集約等有難うございました。L、SLさん下見を含めご苦労様でした。

今日は背番号古い方も多く参加され、お久しぶりの懐かしいウォーキングが出来ました。



アフターウォーク 15:30~17:0 「徐福苑」中華料理店 2階 丸テーブル2卓



新入会員&再入会

新入会員服部さん

378



再入会鈴木徳子さん

379



編集後記：第253回例会47名の参加で、晴天下2020年初例会でした。仲L清水SL、そして下見を含め、吉田SL地元とはいえ詳しい説明とガイド有難うございました。

鶴見七福神は初体験でした。小生の地元山口の親父地域のお寺曹洞宗総代をしていた関係で、石川の永平寺には良く行きました。鶴見の総持寺も孫が小学校から2015年10月17日(土)～過去から未来へ つなぐ心～「鶴見萬燈の夕べ」チラシをもらってきたので行きました。

素晴らしく感動を受けました。余白番外編に添付しました。

いつものボケ防止用日記帳「メモと写真」です。

誤記や失礼な記述が有るかも入れませんが悪しからずお許しの程。説明文はHP他から引用しました。

余白番外編：総持寺 2015年10月17日(土) 鶴見万燈の夕べ 竹灯籠に蠟燭の火

～過去から未来へ つなぐ心～



三門から、向唐門→中雀門→仏殿までの通路両側に竹灯籠に蠟燭の灯が並べられていました。